5　臨床看護に関するもの

演題番号10	セル看護提供方式の導入と今後の課題
発　表　者	公立下蒲刈病院　看護師　日浦　州大
共同発表者	采原　恵美子，松本　啓子，保手濱　恵美，日浦　弘美，大原　加代子

医療現場では人員不足が慢性化しており，とりわけ看護師においてその傾向が顕著である。近年重視されているワーク・ライフ・バランスを充実させて人材を確保するには，日常業務の簡素化や勤務時間の短縮が必要不可欠である。当院では2018年４月に申し送りを廃止して情報収集の効率化に取り組み，その経緯を第45回の本学会で発表した（演題番号11「申し送り廃止への取り組みと今後の課題」）。次に着目したのがセル看護提供方式で，看護師の動線などの無駄を省き，ケアの受け手の価値の最大化を目指して2019年５月に導入した。アンケート結果をまじえながらこの二年間の変化をふりかえり，今後の課題について考察を加えて報告する。

MEMO